

# 生放送でも即座に特定

～追加型特徴DBによるリアルタイムメディア探索技術～

## どんな研究？

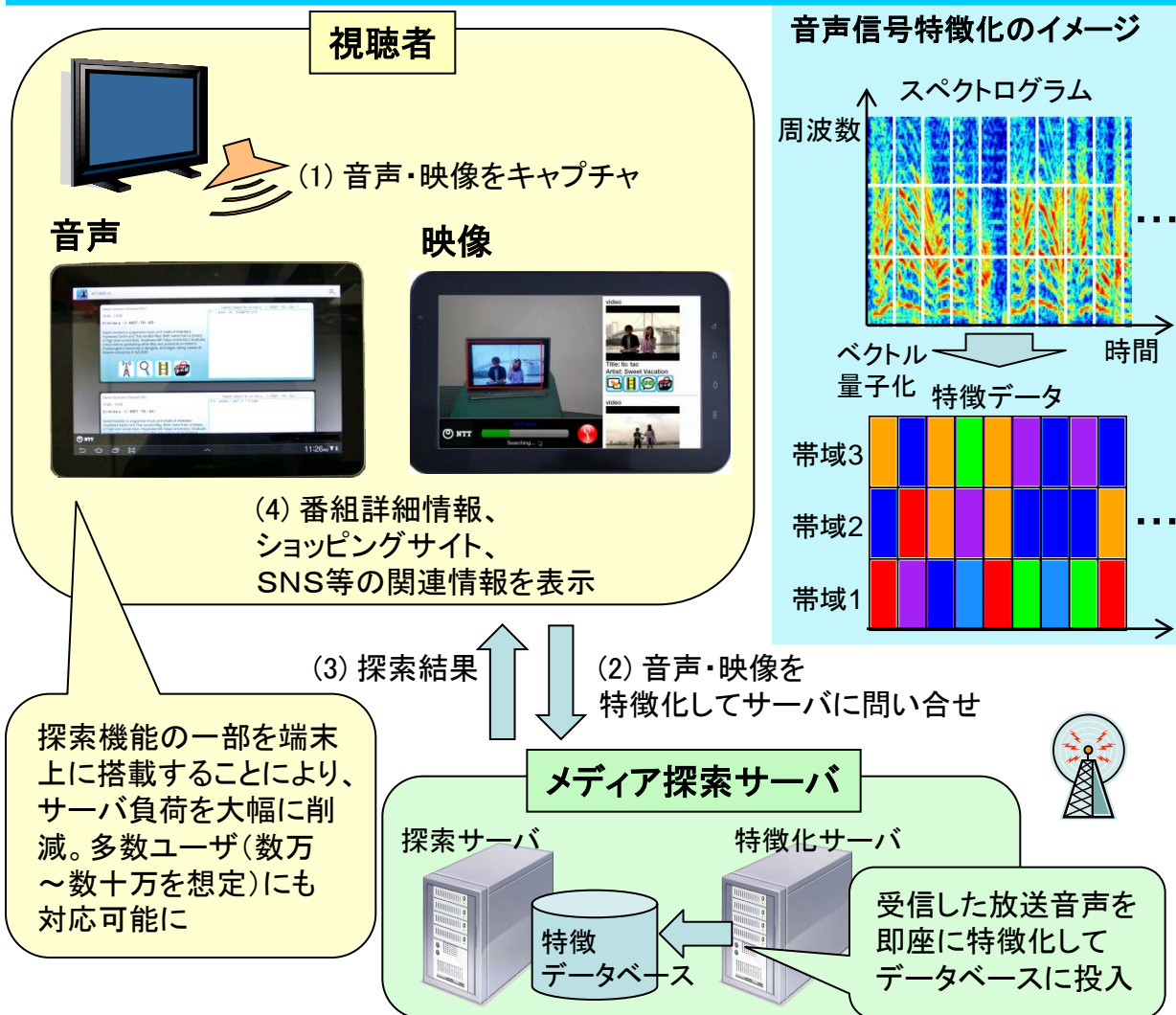
マイクやカメラで取得した音や映像の断片を、あらかじめ登録したコンテンツと高速に照合することで、それが何であるかを特定する技術です。照合には音や映像から抽出した特徴データを用いるため、コンテンツ自体に情報を埋め込んでおく必要はありません。

## どこが凄い？

これまでは、事前に準備されたコンテンツを番組や楽曲等の単位でデータベースに登録していましたが、追加型特徴DBにより、生放送やライブコンテンツでもその場で登録・探索ができるようになりました。また、探索機能の一部を端末上に搭載し、ユーザ数の増加にも対応可能になりました。

## どんな風に役立つ？

テレビを見ながら隣にスマートフォンを置いておくと、番組やCMの音に反応して自動的に関連する情報が提示されたり、関連サイトに誘導されるなど、放送とインターネットとを連携させた、タイムリーな情報を提供するサービスに応用できます。



## 関連文献

- [1] R. Mukai, T. Kurozumi, T. Kawanishi, H. Nagano, and K. Kashino, "NTT Communication Science Laboratories at TRECVID 2011 Content-Based Copy Detection," TRECVID 2011 Notebook Papers, pp.293-298, 2011.
- [2] NTTデータ報道発表, "スマートフォンを用いた、テレビ放送とインターネットのコンテンツ連動サービスを提供," 2012年3月28日. <http://www.nttdata.co.jp/release/2012/032800.html>

## 連絡先

向井良 (Ryo Mukai) メディア情報研究部 メディア認識研究グループ  
E-mail: mukai.ryo[at]lab.ntt.co.jp ({at}の部分を@に置き換えてください)